

神経病学（4M）

責任者・コーディネーター	神経内科・老年科分野 寺山 靖夫 教授		
担当講座・学科(分野)	高気圧環境医学科、脳神経外科学講座、超高磁場MRI診断・病態研究部門、神経内科・老年科分野、小児科学講座、放射線医学講座、整形外科科学講座、医学教育学講座		
担当教員	別府 高明 特任教授、和田 司 特任准教授、佐々木 真理 教授、水野 昌宣 助教、亀井 淳 特任准教授、米澤 久司 准教授、西川 泰正 助教、石橋 靖宏 講師、中里 龍彦 准教授、菅原 淳 助教、大井 清文 非常勤講師、遠藤 寛興 助教、工藤 雅子 講師、田島 克巳 講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 24.0 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

中枢神経、末梢神経疾患および筋疾患の総論、各論を関連各科によって系統立てて講義することを方針とする。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

これまでに学んだ中枢神経、末梢神経、筋の解剖および病態生理学の基本的知識を基礎として、各神経疾患の病因、病態について学び、それらの知識を臨床で活用できる実践的総合力を養う。

・到達目標（SBO）

1. 基礎医学の知識の上に立って、脳、脊髄、末梢神経および筋の正常構造と機能を再確認する。
2. 神経診断学の基本的知識として、神経心理学における高次脳機能、神経生化学における脳脊髄液、神経電気生理学における脳波、SEP、ABR などの諸検査の方法、重要性を理解する。
3. CT、MRI、脳血管撮影などの神経放射線学的基礎知識を習得した上で、各神経疾患に特徴的な画像所見を学ぶ。

4. 脳血管性疾患、脳脊髄腫瘍、変性疾患、代謝性疾患、感染、中毒、外傷・奇形などの中枢性疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を学び、実践につながる応用力を身につける。
5. 脊髄疾患、末梢神経および筋疾患について内科的あるいは整形外科的基本知識を習得し、臨床に役立てられる学力を身につける。
6. 小児神経学を学び、成人とは異なる小児に特有な神経学的所見、症状を良く理解し、小児神経疾患の基本的知識を習得する。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/8	水	3	高気圧環境医学科	別府 高明 特任教授	悪性腫瘍：(神経膠腫・胚細胞性腫瘍・転移性脳腫瘍・その他)
4/8	水	4	脳神経外科学講座	和田 司 特任准教授	良性腫瘍(間脳・下垂体腫瘍以外)
4/15	水	3	超高磁場MRI診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	脳腫瘍の画像診断
4/22	水	2	脳神経外科学講座 脳神経外科学講座	和田 司 特任准教授 西川 泰正 助教	小児の神経疾患各論1(先天奇形)／機能的脳外科(片側顔面けいれん、突発性三叉神経痛)
4/22	水	3	神経内科・老年科分野	水野 昌宣 助教	神経疾患の分子遺伝学
4/28	火	2	小児科学講座	亀井 淳 特任准教授	小児の神経疾患各論2
4/30	木	3	超高磁場MRI診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	脳血管障害の画像診断
5/13	水	3	神経内科・老年科分野	米澤 久司 准教授	全身疾患における神経障害
5/20	水	2	脳神経外科学講座	菅原 淳 助教	脊髄疾患1(脊髄腫瘍・脊髄疾患など)
5/20	水	3	放射線医学講座	中里 龍彦 准教授	頭蓋底・脊髄疾患の画像診断
5/27	水	2	神経内科・老年科分野	米澤 久司 准教授	中枢神経系の感染症

6/3	水	3	整形外科科学講座	遠藤 寛興 助教	脊髄疾患2（脊髄・馬尾・神経根障害の病院・病態と治療および脊椎・脊髄損傷の病態）
6/8	月	2	神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	認知症
6/8	月	3	医学教育学講座	田島 克巳 講師	絞扼性神経障害、腓骨神経麻痺、末梢神経損傷
6/10	水	2	神経内科・老年科分野	大井 清文 非常勤講師	脊髄疾患3
6/10	水	5	神経内科・老年科分野	石橋 靖宏 講師	代謝性疾患／中毒および欠乏性疾患

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版	田崎義昭、斎藤佳雄 著	南山堂	2010
推	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男、天野隆弘 著	中外医学社	1992
推	神経内科ハンドブック第4版	水野美邦 編	医学書院	2010
推	ニュースタンダード脳神経外科学3版	生塩之敬 他編	三輪書店	2013
教	標準小児科学8版	内山聖 他編	医学書院	2013
推	標準整形外科学第12版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2014
推	標準脳神経外科学第13版	児玉南海雄、佐々木富男 監修	医学書院	2014
推	Merritt's Neurology 12th edition	Lewis P.Rowland, Timothy A.Pedley	Lippincott Williams&Wilkins	2009

・成績評価方法

試験成績により評価する。

・特記事項・その他

脳腫瘍	3回
脳腫瘍の画像	1回
小児神経疾患	2回
神経分子遺伝学	1回
認知症	1回
中枢神経の感染症	1回
機能的脳神経外科	1回
末梢神経疾患	1回
代謝疾患/中毒及び欠乏性疾患	1回
全身疾患における神経障害	1回
脳血管障害の画像診断	1回
頭蓋底・脊髄疾患の画像診断	1回
脊髄疾患	4回
絞扼性神経障害	1回

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	筋電計	1	講義用
実習	脳波計	1	講義用
講義	ノートパソコン一式 i BOOK G4	1	講義用
講義	センテックデジタルモニターシステム	1	脳循環の生理学
講義	ノートパソコン一式 (VGN-GIANS)	1	講義用スライド作成
講義	ノートパソコン一式 (VGN-FE53BW)	1	講義用スライド作成

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	学生講義用
講義	ノートパソコン (ZOMU)	1	学生講義用
講義	ノートパソコン一式 (CF-J10DELDP)	1	講義用スライド作成
講義	デスクトップパソコン一式 (ENVY 700-270jp/CT)	1	講義資料作成